

学校番号	中学6	学校名	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校
------	-----	-----	-------------------

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		自主 協同 責任		・県南地区を中心に各校のリーダーとして活躍した生徒が多く集まっている。 ・保護者が熱心に教育をし、たいへん素直で実直に物事に取り組む生徒が多い。 ・多様性が感じられる一方で、周囲と折り合いをつけることが得意ではない生徒もいる。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
・心身ともに健全な若者の育成 ・自立した社会に有為な人材育成 ・難関大学入学を含む高い進路希望の実現		道徳教育重点目標		・将来社会に有為な人材に成長することを生徒に期待している。 ・高い規範意識を生徒に期待している。	
各教科・科目		各学年ごとの指導の重点		特別活動	
国語	文字や言葉で表現したり聞き取る学習を通し伝達能力を高め、他者との円滑な意思疎通能力を身につけ、社会性の向上を図る。	1年		道徳教育実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れて道徳教育の実践を図りながら、集団生活の中で他者と関わる力を付け、自発的な態度を養う。また、集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度、様々な人との触れ合いを通して、よりよい人間関係の形成に資する態度も養う。	
社会	日本や世界の歴史・地理の学習を通し、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民分野では公民的資質を養う。	基本的な生活習慣の定着を図り、自分で考え判断し、その行動に責任を持つ。 【重点内容項目：A2 節度、節制】			
数学	数理的解決力を育むことで問題解決能力を養いながら、数学を生活や学習に生かそうとする態度を身につけ、遂行力を高める。	2年			
理科	自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとを科学的に探求する力を育てる。	3年		総合的な学習の時間	
音楽	豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また、伝統音楽の学習を通して我が国の文化に触れ、そのよさを体感する。	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする意欲と態度を育てる。 【重点内容項目：C11 公正、公平、社会主義】		Global Learners Project (グローバルラーナーズプロジェクト) ～人とつながる・知とつながる・社会とつながる～ ・課題を発見する力 ・発見した課題を分析し、探究する力 ・解決に向け、試行錯誤しながら実行できる力	
美術	作品の制作を通し、創造力や遂行力を高め、鑑賞を通して美しいものに感動する清らかな心情をたがやす。	道徳の時間の指導方針		生徒指導	
保健体育	能力に応じた課題学習を通して目的達成のための前向きな態度を養い、集団的競技では他者との関わり的重要性を学ぶ。	各教科、特別活動、総合的な学習の時間との関連に配慮し、それらにおける道徳教育の実践において、不足する部分を「補充」し、浅い部分を「深化」し、分散した内容を「統合」する。良質の資料を精選し、授業展開を工夫しながら一人一人の道徳的価値の自覚を促し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		自己理解を高め、自己実現を図るための能力・態度を高める。 また、偏見のない、人権尊重の精神を育成する。	
技術家庭	生活に深く関わる体験的学習を通して生活を充実させる方法を学び、情報処理の正しい在り方を身につける。	学級・学校の環境の充実・整備		家庭・地域社会などとの連携	
外国語	言語や文化の違いの中から国際理解の基礎的な力を培う。また、言語を通して広く世界に思いをはせ、国際協調の在り方を考える。	・学年全体で道徳教育に携わる体制作り（協同的な教材開発、ローテーションによる道徳授業） ・道徳ファイルの計画的、系統的な活用による生徒の振り返り ・総合的な学習の時間における「探究学習」との関わり ・ICT機器の活用（学習者用端末、電子黒板等） ・教科書と地域教材との関連		中学校1年生から地域フィールドワークを行い、その際に、OB・OGをはじめ、大学教員や大学生、留学生などから協力の得られる環境を整える。 また、フィードバックの機会を設け、地域の方や保護者の方に発信する。 さらに、地元優良企業のバックアップ体制を充実していく。	
特色ある教育活動や体験活動					
・探究学習プログラム ・探究実践セミナー ・東京グローバルゲートウェイでの英語研修〈1年〉 ・プレ海外英語研修〈2年〉（ブリティッシュヒルズ2泊3日） ・海外希望研修〈3年〉（シンガポール3泊5日）					